



新規現場紹介

「甲南大学」

2025年4月より甲南大学の設備管理業務が始まりました。元請け会社の大阪ガスファシリティーズ様2名とピアサービスの設備スタッフ6名で管理をしています。

東灘区の岡本キャンパスには18棟も建物があり、とても広大な敷地です。他にも西宮やポートアイランド等6カ所にキャンパスがあります。

4月には入学式があり、2000人以上の新入生を迎えるイベントでキャンパスは大変な賑わいでした。

甲南大学出身には各企業の社長様が全国に何千人もおり、なかには有名企業も多数あります。実は当社の岸本会長も甲南大学出身です。

スタートして間もないので、まだまだ大変な状況ですが、大学生の明るい表情と活気に影響を受けてスタッフ全員で頑張っています。



吉岡課長



「靴のヒラキ」



2025年4月より靴のヒラキの設備管理業務が始まりました。前業者から4名、新規1名の5名体制で管理をしています。

空調や水まわり関係の整備から、色々な不具合の対処を行っています。

地元に馴染みのある施設ですので、熟練のスタッフとより安心安全に利用できる施設を目指していきます。

渡辺係長



従業員労働者代表

「従業員労働者代表のご挨拶」

・ピアサービス株式会社

従業員の皆様、お疲れさまです。令和7年3月16日から昨年に引き続き、ピアサービスの労働者代表に信任して頂きました総務部の宮崎基史です。ピアサービスに勤めて、勤続15年目になります。

日々の業務で皆様との接点は、入社時の書類手続き・清掃資機材等の受付や現場への配送手配です。

趣味はパソコンのチューニングです。機器をさわるのが好きで、趣味の経験を活かして会社のパソコン入替え等もしています。

何分、勉強不足なところや至らない点がありますので、皆様と接していきながら成長していけるように頑張ります。

・ピアパートナーズ株式会社

皆様、常日頃から各現場でご尽力いただき、有難うございます。

同じく令和7年3月16日からピアパートナーズの労働者代表に信任して頂きました神戸市西区エリアマネジャーの稲葉重男と申します。ピアサービス及びピアパートナーズに勤めて、勤続7年目になります。

日々の業務で皆様との接点は、神戸市西区を拠点に清掃業務管理や人員管理等をしています。

皆様と同様に現場で働いているので、遠方の現場の方とは接する機会があまりありませんが、同じ現場を支える者同士、どうぞよろしくお願いたします。

藤原取締役



ISO41001

「ISO41001 サーベランス審査」

ISO41001第一次サーベランス審査が3月17日・18日の二日間に掛けて行われました。

第一次サーベランス審査とは、認証取得した翌年に実施されるフォローアップ審査のことです。これは取得したマネジメントシステムが日常業務の中で適切に運用され、継続的な改善が行われているかを第三者機関が確認するものです。審査では内部監査やマネジメントレビューの実施状況や記録の管理、問題発生時の是正対応等がチェックされます。日頃の業務の積み重ねが審査に直結します。

審査判定は無事合格となりましたが、今後も審査での新たな着眼点や気づき等をスパイラルアップし、活動に繋げていきたいと思ひます。



大田常務



社員紹介

藤原取締役



「新入社員のご紹介」

スタッフの皆様、日頃のご勤務いつも有難うございます。皆様のご尽力によって各現場の快適な空間が維持向上されており、感謝申し上げます。

さて前年に続き、今年も本社FM（営業・管理）部と総務部に新たな社員が加わりました。

今後徐々に現場の皆様にもお会いする機会が増えますので、どうぞよろしくお願いたします。

4月1日に入社しました前谷佑介です。業界未経験で不安や戸惑いもありますが、先輩方が丁寧に教えて下さいますので、学びの日々を過ごすことが出来ております。

1日でも早く皆様のお役に立てるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

総務部



4月1日に入社しました梅本豊司です。前職は葬儀会社で営業をしていました。

総務の仕事は10年以上前に経験していましたが、また一から頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

総務部



3月3日に入社しました福田元鐘です。現在、物件担当者と一緒に顧客及び各現場訪問をしており、現場の皆様とお会いする機会があると思ひます。

異業種からの挑戦ですが、一つひとつ丁寧に学びながら、社員の皆さんが安心して力を発揮できる職場づくりに貢献していきたいです。

FM部



新年度を迎えるにあたり

2025年4月24日
ピアサービス株式会社
取締役社長 佐藤克徳



皆さま、いつも有難うございます。
ピアサービスでは、5月1日より新年度（第54期）がスタートします。
今期も皆さまの誠意と努力のおかげで、好調だった前期の業績を更に上回り、ついに年商20億円の壁を突破する事が出来ました。
これもひとえに、現場、事業所、営業、管理、事務、その他ピアサービスの業務に関わる全ての従業員が、それぞれの立場で役割を精一杯果たしてくださった努力の結晶であると、ここに深く感謝申し上げます。

さて、今期はファシリティマネジメントの国際規格「ISO41001」の認証を県内初、国内で5番目に取得することができたほか、会社のホームページとパンフレットを刷新し、ピアサービスのアイデンティティとブランドを再構築することで、新時代のピアサービスへ向けて自らを変革していく大きな弾みの年度となりました。
その結果、外資系企業からの問い合わせやFM提案の機会、新たに本社社員4名の入社など、営業面・採用面に於いても早速良い効果が表れはじめております。

そして来期からは、いよいよFM戦略を実践していきます。
会社としては、JFMA（日本ファシリティマネジメント協会）が主催する「日本ファシリティマネジメント大賞」への応募や、行政施設の包括管理、PFI事業への参画など、様々な分野へのチャレンジを計画しています。
皆さまの日々の現場をはじめ、営業、総務の仕事の中には、まだまだ改善のヒントやビジネスチャンスは沢山眠っています。
しかしチャンス女神には前髪しかないのです、通り過ぎてからでは掴めません。
目の前の常識を疑い、チャンスを見過ごさない為には常にアンテナの感度を上げておく必要があるのです。
この、私たちの意識にパラダイムシフト（価値観や視点の劇的な変化）を起こすきっかけになるのがFMです。
従来の固定概念やビルメンテナンスの枠に囚われず、FMの視点でお客様、社会、そして我々自身の幸せを想像し、あらゆる角度から「お役に立つこと」を常に考え、タイムリーにそして誠実に取り組んでいくことで、必ず願いは叶うと信じています。

「目標とは予測ではなく、意志である」という言葉のとおり、「こうしたい、こうなりたい」といった淡い見通しや希望レベルではなく、「絶対にこうする、こうなる！」と常に強く思い、行動し続けてこそ目標と言えます。
今期はその思いに共感する社員の行動の渦が次第に大きなものとなり、何より社員の目の輝きが変わってきた様子や成長を間近で感じる事が出来た、本当に幸せな1年間でした。

来期は今のピアサービスの勢いを更なる成長軌道に乗せるため、業績のみならず、「働きやすさ」と「やりがい」の双方が充実した、もっともっと「働きがい」のある会社を目指して、従業員の皆さんの幸せのために全力で取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。